



©大田区

おおたの教育

発行/大田区教育委員会 〒144-8623 東京都大田区蒲田五丁目37番1号ニッセイアロマスクエア5階 TEL 03-5744-1111(代表) HP <https://www.city.ota.tokyo.jp/kyouiku>

今号の主な内容

- 1面 ・令和8年度教育予算
- 2面 ・区議会第1回定例会 教育長所信表明
・子ども教育長・教育委員の意見交換会を開催しました!
- 3面 ・令和7年度大田区教育委員会 教育実践功労者表彰
・令和7年度文部科学大臣優秀教職員表彰
- 4面 ・学校にかかる費用の一部を支給します(就学援助)
・特別支援学級の新設
・「第三回おおた地球さんご賞」作文・エッセイコンクール
入賞作品・入賞者発表
・図書館を使った調べる学習コンクール

令和8年度教育予算

笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力を育てます

令和8年度の大田区一般会計予算の総額は3,685億円、そのうち教育関係予算は607億円(総額の16.5%)となっています。今年度は、大田区の教育分野の基本計画である『おおた教育ビジョン(令和6~10年度)』の中間年にあたります。教育委員会では、子育て・教育が区政の最重要課題の一つであることを踏まえるとともに、おおた教育ビジョンが掲げる理念「笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力を育てます」を実現するため、各施策に取り組みます。

詳細は、大田区ホームページからご覧いただけます。



国際都市おおたを担う人材の育成

区独自の国際教育として実施しているおおたグローバルコミュニケーション(OGC)を推進し、英語力の向上と豊かな国際感覚をはぐくむ教育を推進します。
7億8,393万円

外国語教育指導員(ALT)の区立全小中学校に常駐配置

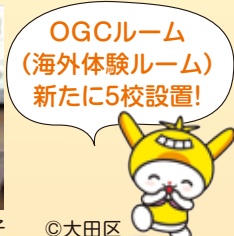
ネイティブ・スピーカーが毎日学校にいる環境にします。

英検(実用英語技能検定)公費受験対象の拡大

公費負担で受験する学年を、区立中学校第3学年に加えて第2学年も実施します。



▲ ALTを効果的に活用した授業の様子



©大田区



▲ OGCルームを活用した授業

創造的な力の育成

中学校版「おおたの未来づくり」の実施によるSTEAM教育の推進 2,013万円

区立中学校において、実社会から「探究課題」を設定し、課題解決や新たな価値の創造にチャレンジする学習を行います。令和11年度からの区立全中学校実施に向け、令和8年度は4校で研究実践します。



▲ キャリア探究の取組



▲ シブクク・アクションの取組

個性と能力を発揮するための基礎となる力の育成

放課後子ども教室における自主学習支援の区立全小学校実施 1億713万円

学習習慣と基礎学力の定着、放課後子ども教室を活用した勉強サポートを本格実施します。



©大田区

一人ひとりの個性と能力を伸ばす教育環境の整備

不登校施策の推進

●不登校対応分教室〔(仮称)みらいチャレンジ〕の設置等【新規】 6,075万円

校内設置型の不登校対応分教室を区立中学校1校に設置し、不登校生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、実態に応じた支援や配慮した教育を実施します。

●学びの多様化学校(学校型)の整備(実施設計) 1億5,475万円

ふれあいはすめま跡に新築により設置し、令和13年度の開校を目指します。令和8年度は、施設整備の実施設計を進めます。



▲ 学びの多様化学校(学校型)の鳥瞰イメージ

教材費等の無償化【新規】 8億8,735万円

区立小中学校に通うすべての児童・生徒を対象に、これまで家庭に負担していただいていた補助教材などに係る費用を公費で負担することで、子育てを社会全体で支えます。

学校施設の改築 183億1,914万円

学校施設の更新を計画的に進め、児童・生徒により良い学習環境を提供します。

《改築校等一覧23校》

- ◆入新井第一小学校
- ◆赤松小学校
- ◆東調布第三小学校
- ◆矢口西小学校
- ◆安方中学校
- ◆入新井第二小学校
- ◆馬込第三小学校
- ◆田園調布小学校
- ◆東調布中学校
- ◆馬込東中学校
- ◆中萩中小学校
- ◆石川台中学校
- ◆萩中小学校
- ◆出雲中学校
- ◆大森第五小学校
- ◆雪谷小学校
- ◆糀谷中学校
- ◆北糀谷小学校
- ◆池雪小学校
- ◆六郷中学校
- ◆西六郷小学校
- ◆大森第八中学校
- ◆蒲田中学校

特別支援教育の推進 533万円

多様な学びの場と機会の充実に向けた取組として、令和9年度に松仙小学校に知的障害特別支援学級を開設するための環境を整備します。



▲ ラーニング commons イメージ図



▲ 学習室

こどもの成長を支えるための地域づくり

児童の安全・安心な放課後の居場所の拡充 28億7,066万円

新たに2校で「学校内学童保育」を開校します。

また、学童の受け皿となる居場所環境を整備するため、午後6時まで学校内で安全・安心に過ごすことができる「放課後子ども教室プラス」を7校で試行実施します。

小学校における朝の居場所づくり 1億1,965万円

登校時間までの間、学校内で安全・安心に児童が過ごせるよう、午前7時30分から居場所の確保と見守りを行います。

コミュニティ・スクールの全校導入 2,435万円

学校と地域がともに学校運営に取り組む制度であるコミュニティ・スクール(学校運営協議会設置校)を令和8年度中に区立全小中学校に導入します。



学校における働き方改革の推進

部活動の地域連携・地域展開の拡充(ハイブリッド型モデル事業の区立全中学校での実施等) 6億9,349万円

区立全中学校を対象に計114部活動の指導を事業者へ委託するなどして、学校の実態に応じた「部活動の地域連携・地域展開」に取り組みます。



▲ 合同部活動(O.T.A.Dance Team)の様子

学校施設の地域開放外部委託 4,290万円

校庭や体育館などを貸出す地域開放事業の外部委託を区立全中学校に拡大し、学校の業務負担軽減及び利用者の利便性向上を図ります。



▲ 子どもバスケットボールクラブの様子



◀ 小黒仁史 教育長

区議会第1回定例会 教育長所信表明

令和8年区議会第1回定例会(2月13日)、小黒教育長が登壇し、所信表明をいたしました。

令和8年はおおた教育ビジョンの中間年に当たります。教育委員会では子どもたちの可能性を引き出し、笑顔あふれる未来社会の形成者として創造的に生きる力を育てる施策を推進しております。その成果が子どもたちの生き生きと活動する姿となって随所で見られるようになってきた事例を紹介いたします。

国際教育に取り組む調布大塚小学校児童の姿

参観した授業では「カンボジアをどのように支援するか」というテーマで、児童が各国の代表の立場に立って模擬国際会議を開いて考えを発表していました。

フランス代表役の児童の「生活基盤の整備に5~6兆円の援助を行う。」という発表に対して、外資系会社の授業協力者の方が「高額であり国民は了解するのか。」と問いかけたところ、児童は即座に「GDPの3%ほどなので可能だと思う。」と答えていました。

私は、児童が国のGDPを根拠に質問に即答したことに驚きを感じました。きっと、授業協力者の方から情報を得たり、自分で調べたりして、考えが自分のものになっていたからだと思います。

国際社会の課題に目を向け考える学習は、未来社会を生きる子どもたちに大切かつ必要なことであり、さらなる充実を図ってまいります。

オーストラリアに派遣された生徒の姿

令和7年度から生徒の海外派遣先の一つをオーストラリアのジュンダラップ市に変更しました。

現地における交流の最後に、半被を着て大田区の「すっきり音頭」を一緒に踊りました。リズムも振りも全く初めてのもので、ぎこちない様子の現地生徒も、一緒に踊るうちに楽しそうに踊り始め、やがて日本とオーストラリアの盆踊りの輪が出来上がりました。

少し大きですが、その姿に異文化理解の道筋

を見たように思いました。異なる文化の中で育っても伝えようとする気持ちがあれば通じ合えることを生徒たちは身をもって体験しているように思いました。

自由進度学習に取り組む 入新井第一小学校児童の姿

学期に一度、学習課題や方法を自ら選択して進める自由選択制の学習に取り組む中で、思い思いの場所で興味をもった課題について主体的に探究することの姿が見られました。

都道府県について調べる学習や日本の四季の学習では、各都道府県の産物や資料、四季折々の風物や写真などのコーナーが設けられ、まるで小さな博物館のようでした。

このように、教師が熱意をもって資料を集め教材研究を深めることで、子どもたちの探究活動は深まっています。そして、その熱意を引き出しているのは、一生懸命に課題を探究することの姿であると感じました。

次に、今年、教育委員会が特に力を入れたい重点施策を申し上げます。

コミュニティ・スクールの 区立小中学校87校全校での実施

現在62校がコミュニティ・スクールとして地域力を生かした学校づくりを進めています。地域の方とともに子どもを育てる中で、子どもたちが健やかに成長できる大田区の特徴を生かした教育環境を創りあげてまいります。

子どもたちが安心して過ごせる場の拡充

子どもと保護者の安心につながる取組として、区立小学校で7時半から始業までの朝の時間を学校内で過ごせるよう取り組んでまいります。

子どもたちの学力の向上

全校の指導訪問による授業改善や放課後子ども教室における自主学習支援など、子どもたちが学習に意欲と自信が持てるよう丁寧な学習指導を行い、落ち着いた学習に取り組む環境をさらに充実していきます。

自分らしく生き生きと生きるための学びの支援

個々の教育ニーズに応じた多様な学習の場を充実させ、子どもが学び、成長する環境を一層拡充します。また、教育相談、支援体制を充実させ、子どもの命と成長が大切にされる教育環境を、区民の方の協力をいただきながら築いていきたいと思っています。

中学校における「おおたの未来づくり」の 実施によるSTEAM教育の推進

先日、参観した大森第六中学校の研究発表では、1~3年生までが一緒になってシビックアクションを起こしながら探究を深めており、中学生ならではの探究の広さや深さには目を見張るものがありました。令和8年度は、研究実践校を2校から4校に増やし、令和11年度からの全中学校での実施を目指してまいります。

教育委員会は、昨年、初めての試みとして教育委員と中学生との懇談会を2回行いました。

中学生の言葉から『中学生は、受け身ではなく、主体的に学び、動きたがっている。』という印象を強く受けました。

未来社会は予測困難な社会であると言われてますが、自らこうありたいと思ひ描き、多くの方々と共有し実現に向けて取り組む試行錯誤の中で未来が形作られるように思います。

教育は、子どもたちの未来を創り出す営みであり、教育委員会は、一層の創意と工夫をもって、「笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力を育てます」というおおた教育ビジョンの理念に基づく教育施策を着実に推進してまいります。



子どもと教育長・教育委員の意見交換会を開催しました!

開催日 令和7年8月28日(木)

参加者 区立中学校に在籍する第2学年生徒9名、教育長、教育委員

テーマ ①大田区の外国語教育について ②タブレット端末の活用について

生徒からの意見に対する教育委員会の考え方をお答えします。(一部抜粋)

①大田区の外国語教育について

【意見】授業中に英語で対話する時間をもっと増やしてほしい。

【考え方】引き続き取り組んでいきます。

教育委員会では、英語の学習を通じて「話す」「聞く」「読む」「書く」の4つの力をバランスよく伸ばしていくために、英語を活用した対話機会の充実が重要と考えています。教育委員会は、外国語教育指導員をより効果的に活用できるようになるための教員研修を実施するなど、英語を活用した対話機会がさらに増えるよう、学校と協力しながら取り組んでいきます。

②タブレット端末の活用について

【意見】タブレット端末の使い方のルールを知る機会が少ないと感じるので、生徒みんながルールを知って理解できるように先生から説明する時間を設けてほしい。

【考え方】今後の取組の参考にします。

教育委員会は、全ての校長先生が集まる会議において、タブレット端末の使用ルールについて、生徒に対して改めて確認や指導などを行うよう周知しました。みんながルールについて知るとともに主体的にルールについて考え見直ししていくことができるような取組について、教育委員会と学校が協力しながら考えていきます。



▲ 意見交換の様子



▲ グループワークの様子

左記以外の意見とそれらに対する教育委員会の考え方には、こちらの二次元コードからご覧ください。



令和7年度大田区教育委員会 教育実践功労者表彰

教育委員会では、区の教育の発展に貢献し、優れた教育実践を行った教員を「教育実践功労者」としてその功績をたたえ、毎年表彰しています。令和7年度は、教員経験が10年未満の方を対象とする「若手教員奨励賞」と、複数人での取組みを対象とする「グループ表彰」を新設し、合計21名の方を表彰しました。今後とも教員の皆様には、大田区の教育のためにご尽力いただき、教育委員会としても、こどもたちの健やかな成長を支えていきたいと願っています。

受賞者のコメント(上段)・表彰理由(下段)を紹介します。

芳賀 玲子 指導教諭
(大森東小学校)

受賞コメント
こどもたちの実態やニーズに合った指導や実践を積み重ねてまいりました。今後もその歩みを大切に、こどもたちの成長を支えていきます。

表彰理由
東京都教職員研修センターの依頼に応じ、特別支援教育に関する専門性向上研修などの講師を複数回務めた。大田区初の自閉症・情緒障害特別支援学級で指導と学級経営を実践した。新設校教職員への指導と体験授業を牽引し、特別支援教育コーディネーター研修講師も務めた。

首藤 涼一郎 主幹教諭
(入新井第一小学校)

受賞コメント
支えてくれた人への感謝を忘れず、これからも生活指導主任として、心が満たされたこどもたちで学校をいっぱいにできるよう励みます。

表彰理由
前任校を含め13年間、教務主幹および生活指導主幹を務めた。生活指導主幹として、いじめ問題や不登校児童への対応、問題行動への対処を組織的に推進した。生活指導主任会や区の施策推進においてもリーダーシップを発揮した。

福井 和子 主任教諭
(入新井第一小学校)

受賞コメント
難聴・言語障害教育の分野で、悩みながらもこどもの成長や笑顔に支えられてこれまで学び得てきたことを、後進に引き継いでまいります。

表彰理由
37年間にわたり言語指導が必要な児童へ通級指導を行い、構音や吃音で悩む児童に寄り添い成果を積み重ねてきた。通常学級との橋渡しを丁寧に進め、難聴・言語領域の若手教員の育成の模範となり、全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会東京大会でも尽力した。

石井 あゆ美 主任教諭
(北糀谷小学校)

受賞コメント
周りの支えがあって今があると感じています。これからも、こどもたちが自分らしいキャリアを描けるよう、未来につながる学びを大切にしていきます。

表彰理由
東京都教育委員会による特別活動カンファレンスで、「キャリア形成と自己実現」を在籍校の実践として広く伝えた。発表は都のホームページに掲載され、令和6年度の全国大会で「外部人材を生かしたキャリア教育」を通じて「おおたの未来づくり」を全国へ紹介した。

鍛田 圭佑 主幹教諭
(六郷小学校)

受賞コメント
たくさんの先生方と出会い、よりよい教育を求め一步一步研鑽を積んできました。今後も挑戦を続け、こどもと共に成長していきます。

表彰理由
大田区教育研究会体育科の副部長として授業研究を推進し、授業を校内外へ公開して若手教員の育成に寄与した。丁寧な計画に基づく指導で児童の主体性を高め、大田区立小学校教育研究会の体育部および学校全体の指導力向上につなげた。

高橋 さや香 主任教諭
(西六郷小学校)

受賞コメント
今後も「おおたの未来づくり」を通し、こどもたちが主体的に学習に向かうことができるよう研鑽を積んでまいります。

表彰理由
在籍校では「おおたの未来づくり」の研究主任として、校内の理解と実践の共有を推進した。主体的・対話的な学習を重視し、児童の学習意欲と内容の定着を高めた。令和6年度のエリア協議会では発表担当校として全体を統括し、他校教員への指導力向上にも寄与した。

廣田 由紀 主任養護教諭
(西六郷小学校)

受賞コメント
管理職や多くの教職員の皆様に支えられながら、こどもの心身の健康に寄り添ってまいりました。この名誉ある賞に恥じぬよう、精進いたします。

表彰理由
全学年で健康教育を推進し、地域の健康課題解決に向けて連携を整備した。不登校対応では校内別室指導など、特別支援教育コーディネーターとして支援方を学校全体に進めた。令和7年度東京都学校保健研究会では、都内の養護教諭の不登校対策推進に係る模範となった。

管井 美佳 主任教諭
(仲六郷小学校)

受賞コメント
これからも、こどもたちが地域との繋がりを大切に、学校での学びを生かし楽しく未来を創生していけるように努めてまいります。

表彰理由
在籍校では「おおたの未来づくり」の全体計画を牽引した。地域の商店街や町会と連携して授業実践を展開し、新商品の開発・販売を実現した。校内研究の充実と教員の意欲向上を促し、地域創生につなげた。地域の募金活動や防災訓練など、校外の活動にも主体的に取り組んだ。

吉羽 顕人 主幹教諭
(おなづか小学校)

受賞コメント
これまでお世話になった先輩方の背中を、なんとか追い続けてきました。これからは、追いかけたいと思ってもらえる背中を見せられるよう、精進します。

表彰理由
教務主任として特色ある教育課程の編成・実施を推進した。ICT活用により働き方改革を進め、教員の在籍時間を削減しつつ学校評価を維持した。自主研修会を実施して指導力向上に努め、「明日も行こうと思える楽しい学校づくり」の実現に貢献した。多数の執筆の実績がある。

庭野 友里子 主幹教諭
(大森第六中学校)

受賞コメント
こどもたちが「学ぶ意義」を実感し、明るい未来を創造することができるように、自分のすべきことは何かを模索してまいります。

表彰理由
令和6年度から大田区教育委員会教育研究推進校の研究主任として、環境教育のカリキュラム作成を推進。併せて、「おおたの未来づくり」の研究開発にも寄与し、中学生が社会課題を自分事として考え実践する探究を深めた。連合演劇の運営も主導した。

進藤 陽子 主任教諭
(御園中学校)

受賞コメント
不登校支援に尽力している御園中、大田区に多くのことを学ばせていただきました。感謝の心を忘れず、これからも精進してまいります。

表彰理由
第3学年主任および登校支援コーディネーターとして、優れた生徒指導を実践した。校内別室の利用推進と外部機関との連携による教育相談を充実させ、都・区・校内の生徒指導の発展に寄与した。ICTを活用し、思考力・判断力・表現力を育成する問題解決学習に取り組んだ。

若手教員奨励賞
浅野 晃史 主任教諭
(入新井第一小学校)

受賞コメント
地域・企業との連携で学びを広げ、駅伝大会でもこどもの挑戦を支えてきました。今後もこどもたちの成長に寄り添う実践に努めます。

表彰理由
令和4年度から令和6年度まで研究していた「おおたの未来づくり」について、地域を生かしたカリキュラム開発に果敢に取り組んだ。研究発表において、自立した学習者の育成についての事例研究を行い、その成果は在籍校のみならず、多くの教員の参考となった。

若手教員奨励賞
鈴木 奏登 教諭
(雪谷中学校)

受賞コメント
大田区の未来を創るこどもたちの育成に貢献できていることに、感謝と誇りを感じています。今後も目の前の生徒と向き合っていきます。

表彰理由
令和5年度・令和6年度の教育研究推進校の研究において、探究的な学びの分科会の長を務めた。学習用タブレットを活用し、学習者主体の授業を推進して区内へ広く発表した。研究発表終了後も学習者主体の授業づくりを継続し、他教員の模範となった。

グループ表彰
持田 哲郎 教諭、金子 光希 教諭、神谷 優香 教諭
(大森第三小学校)

受賞コメント
『未来を創り出す「食」プロジェクト』として大学や企業と連携し、児童が献立を考案して発信しました。今後も地域の課題解決に向けて励んでまいります。

表彰理由
6年生の「おおたの未来づくり」で東邦大学の研究室と連携した授業開発に取り組んだ。企業連携による「元気100倍ピザ」の販売を通じ、地域創生へ大きく寄与するとともに、他校の参考となるカリキュラム開発を実践した。

グループ表彰
榎 英子 主任教諭、鈴木 美咲 教諭
(入新井第一小学校)

受賞コメント
一人ひとりが主役の学びを。自由進度学習を軸に、こどもが将来にわたって自走する学びを学校全体でこれからも追究してまいります。

表彰理由
誰一人取り残さない個別最適な学びの充実を目指す研究として、単元内自由進度学習の可能性を探究した。成果を区内外へ発信し、指導方法を見つめ直す機会を提供した。児童には自分のペースで学ぶ喜びと充実感を広く届けた。

グループ表彰
山崎 智之 主任教諭、鎌田 千恵 主任教諭、岡村 和哉 教諭
(北糀谷小学校)

受賞コメント
学校をよりよくしたいというこどもたちの思いを大切に活動してきました。こどもの声を大切にして、今後も楽しい学校づくりに励んでいきます。

表彰理由
児童会活動の担当として「みんなの学校 みんなで大作戦」を計画・実践した。児童主体の活動が学校教育目標の実現に寄与し、文部科学省の資料では学習指導要領改訂に係る業務の参考事例となった。



後列左から
持田教諭、金子教諭、神谷教諭、榎主任教諭、山崎主任教諭、鎌田主任教諭、岡村教諭
中列左から
廣田主任養護教諭、管井主任教諭、吉羽主幹教諭、庭野主幹教諭、進藤主任教諭、浅野主任教諭、鈴木教諭(雪谷中学校)
前列左から
芳賀指導教諭、首藤主幹教諭、福井主任教諭、石井主任教諭、鍛田主幹教諭、高橋主任教諭
上部左上
当日公務のためご欠席
鈴木教諭(入新井第一小学校)

令和7年度 文部科学大臣優秀教職員表彰

おなづか小学校 杉山 史典 主任教諭
毎年教育研究論文を発表し、教師の指導力や児童の学力向上に貢献しました。また、都教育研究会においても授業研究委員として研究を進めるなど、算数科教育の推進力向上に尽力しました。

東糀谷小学校教職員一同
「地域とともにある学校」を目指し、地域学校協働本部を中心に大田区独自教科「おおたの未来づくり」を実施するなど、特色ある学校づくりを推進しました。

問合せ先 指導課 教職員担当 TEL: 03-5744-1437 FAX: 03-5744-1665

問合せ先 教育総務課 庶務係 TEL: 03-5744-1422 FAX: 03-5744-1535

学校にかかる費用の一部を支給します(就学援助)

対象 区内在住の小中学生の保護者で、下記のいずれかに該当する方

- ①生活保護を受けている(要保護認定者)
 - ②同一生計を営む世帯全員の令和7年中の総所得金額等が認定基準所得金額に満たない(準要保護認定者)
- ※直近で家計が急変した世帯については、問合せ先までご相談ください。

《認定基準所得金額の目安》

※認定基準所得金額は、家族の年齢構成等によって異なります。表の金額は、あくまで目安です。

世帯人数	2人	3人	4人	5人
給与所得の目安	302万円	363万円	407万円	489万円
収入の目安(参考)	433万円	509万円	563万円	666万円

援助内容

- 認定された場合は、下表のA・イの援助が受けられます。ただし、認定区分・学年及び申請月によって費目や支給額は異なります。
- 要保護認定者(生活保護受給者)の方は、下表のAの費目について生活保護費から支給されるため就学援助での支給はありません。
- 就学援助は、認定された方に就学援助費を支給するものであり、教材費等の学校納付金が免除されるものではありません。学校からの案内を確認の上、お支払いください。

A	○給食費 ○学用品費 ○新入学用品費 ○体育実技費(購入者のみ) ○通学費(特別支援学級(固定)通学者のみ)
イ	○校外授業費 ○移動教室参加費(参加者のみ) ○修学旅行参加費(参加者のみ) ○クラブ活動費(小学校第4~6学年のみ) ○卒業アルバム費(購入者のみ) ○医療費(対象疾病のみ)

※上記費目について、保護者の負担がない場合は支給対象外となります。

※新入学用品費について

新入学用品費は、入学前に支給を行っています。令和9年4月に中学校へ入学することもがいて、入学前に受給を希望する場合は、小学校第6学年の時点で就学援助の申請を行ってください。

申請方法

4月上旬に学校から配布する「令和8年度就学援助費受給申請書」を期日までに学校へ提出してください。なお、大田区以外の区市町村立及び国立・都立・私立小中学校に通っている場合は、下記までお問い合わせください。

問合せ先 学務課 学事係 TEL: 03-5744-1429 FAX: 03-5744-1536

特別支援学級の新設

区では、障がいのある児童・生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取り組みを支援するという視点に立ち、児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、それに対応した適切な指導や支援を行うために、特別支援学級(固定学級)を設置しています。

知的発達に遅れがなく、自閉症や情緒障がいにより在籍学級での学習に適応することが困難な状況にある児童・生徒の学びの場として、「自閉症・情緒障害特別支援学級」を令和8年4月に道塚小学校に開設します。小学校は大森東小学校、嶺町小学校に続き3校目の開設となります。

なお、令和9年度には松仙小学校に小学校17校目となる、知的障害特別支援学級の開設を予定しています。

令和8年4月1日開設
道塚小学校

問合せ先 学務課 特別支援教育担当
TEL: 03-5744-1440
FAX: 03-5744-1536

「第三回おおた地球さんご賞」作文・エッセイコンクール入賞作品・入賞者発表

子どもたちの水や環境問題に対する意識を高めるきっかけとなることを目的に募集した「第三回おおた地球さんご賞」作文・エッセイコンクールの入賞者が決定しました。今年度は447作品(小学生115作品、中学生332作品)のご応募がありました。

このコンクールは、令和4年度に福岡県でスタートした「地球さんご賞」事業の大田区版であり、大田区では3年目となります。今年度は全国9か所(福岡県、岡山県、静岡県、富山県、宮崎県、佐賀県、大分県、沖縄県、大田区)で実施しています。

主催:一般社団法人水のもり文化プロジェクト

共催:大田区教育委員会



▲詳細はこちらから



▲表彰式の様子

問合せ先 教育総務課 教育地域力推進担当 TEL: 03-5744-1447 FAX: 03-5744-1535

図書館を使った調べる学習コンクール

「第13回大田区図書館を使った調べる学習コンクール」を開催しました。このコンクールでは、身近な疑問や不思議に思うこと、興味があることなど自由にテーマを決めて、どのように調べ、その結果何がわかったかを作品としてまとめるものです。

令和7年度は、区内の小・中・高校生から1,169点の応募をいただき、小学生の部から14点、中学・高校生の部から4点を入選作品に選定し、第29回全国コンクール(主催:公益財団法人図書館振興財団、後援:文部科学省、観光庁、総務省ほか)へ推薦しました。



問合せ先 大田図書館 TEL: 03-3758-3051 FAX: 03-3758-3625

全国コンクール入選結果

【優良賞】

- 中治ひより(相生小学校5年)
- 望月航(私立明治大学附属明治中学校2年)
- 石原歩佳(高等学校2年)

【奨励賞】

- 倉田莉子(東六郷小学校3年)
- 瀬戸健太(大森第十中学校2年)
- 向井悠乃(私立桜蔭中学校3年)

教育委員会の会議録

☆教育委員会の会議録につきましては、右の二次元コードから教育委員会ホームページの該当ページでご確認いただけます。

教育委員会の開催予定日

- 日程 4月28日(火) 5月25日(月) 6月29日(月)
- 時間 午後2時から
- 場所 蒲田五丁目37番1号 ニッセイアロマスクエア5階 教育委員会室

※予定が変更になる場合があります。傍聴を希望する方は、あらかじめ下記問合せ先へご確認ください。
※手話通訳・要約筆記が必要な方は開催日1週間前までに、その他特別な配慮が必要な方は事前にご連絡ください。



▲教育委員会の会議録

問合せ先 教育総務課 庶務係 TEL: 03-5744-1422 FAX: 03-5744-1535